



決意を胸に 2学期のスタート!!

今年も「命」をキーワードに、「現状維持は後退」として、しっかりと前を向き前進する夏休みとすることを一人一人に投げかけた38日間の「決意の夏」「挑戦の夏」が終わりました。今日2学期の始業式を無事に迎えることができました。今日は、昨日までの1日とは違う。新しい学期の始まりは、成長・前進のための何よりのチャンスであるとして、2学期は、「実りの学期」ではなく「蓄える学期」として一番の長丁場の学期の始まりにあたり、始業式で、次のように話しました。ご家庭でも話題にあげていただき、背中を押していただければと思います。今学期も、職員一同「ものにする ものを言う ものに成る」生徒づくりに取り組みます。保護者や地域の皆様のお力添えをお願いいたします。

★「本気」の積み重ね

- ・パリ2024オリンピックの日本選手団。勝ち負けをはじめメダルの数がもてはやされる。
- ・勝ち負けやメダル数よりも、見ている私たちに勇気や希望、感動を与えたのは、選手一人一人が、一戦一戦、一瞬一瞬に正対して、全力でプレーする姿の一つ一つである。
- ・その裏には、一人一人のひたむきな本気の積み重ねがあったからだ。
- ・本気でやれば、たいていのことはできるし、何でも楽しい。そして、誰かがきっと助けてくれる。

★「新たな始まり」⇒成長や前進のためのチャンス

- 1年生……「土台をつくれ！」
 - ・初めての夏休みをしっかりと前を向いてきたことが感じられる。
 - ・これまでも1年生には、玖島中の一員となったと誉めてきた。
 - ・入学式で贈った言葉「守・破・離」。
 - ・中学校生活にも慣れてくるこの時期、慣れが気の緩みにつながって、歩みを止めてはならない。
 - ・中学校3年間の約6分の1が終わることとなる今
 - ・卒業後の未来を切り拓くための「智慧」と、「我慢」、「辛抱」、「逃げない心」をさらに身に付ける。
 - ・1年後には玖島中を引っ張る2年生として、来年の今頃を迎えている。その先頭に立つときに備えてほしい。
- 2年生……「玖島中の核となれ！」
 - ・多くの部活動ですでに3年生が引退し、先頭に立っている。
 - ・玖島中学校の襷を預かる時、1月がヒタヒタと近づいている。学校を担う意識と力を高めなければならない。
 - ・終業式でも話したとおり、学校は学ぶところだ。学び続けてこそ、人はその可能性や希望が生まれてくる。
 - ・授業や係活動、友達や家庭学習等に正しく向き合う自分に責任をもて。
 - ・1年生の時の合唱コンクールで感じた底知れぬパワーを秘める2年生。
 - ・そのパワーを本物にするには、2年生一人一人の「ものごとに正対し、全力で取り組む姿」が欠かせない。
 - ・今学期は、修学旅行も控えて、10月で中学校生活も折り返し点。玖島中の顔となる時が近づいている。
- 3年生……「中学校生活の答えを出せ！」
 - ・始業式で話したうちの1つ「チャンス、チャレンジ、チェンジ」を意識して取り組んでいる姿が感じられる。
 - ・2年生までとは違う自分になろうと一人一人が取り組んでいることが感じられるからだ。
 - ・中学校入学以来、何を学び、何を身につけ、どう成長したのか。そしてどこに向かうのか、答えを出す時だ。
 - ・仲間とともに、同級生や後輩の一人一人の心に、そして目に焼き付いた1学期の体育大会は実に見事だった。
 - ・10月末に行う「合唱コンクール」など、中学校生活最後の行事が続く。
 - ・行事に燃える玖島中伝統のバトンを1・2年生にしっかりと手渡ししてほしい。
 - ・自分の将来をイメージしながら、個人戦と団体戦を大切に、力を合わせて自分の進路を切り開こう。

★ 2学期も「あいさつ、校歌、笑顔が輝く学校」をめざす。

- ・3年生は、これまでどおり先頭に立ってそれを実現してほしい。1、2年生も同じだ。
- ・「あいさつ」「校歌」も、まだ良くなると考えている。
- ・1学期の終業式の「校歌」は、さわやかなすばらしい歌声だった。
- ・体育大会からずっと尻上がりに成果を出している。自分の、自分たちのものになっている。
- ・一方で「あいさつ」は、この夏休み中、少し物足りなさを感じている。
- ・「あいさつ」という人間としての基礎・基本。
- ・この基礎・基本が身につけていない人が、いくら勉強ができて、スポーツができて、それは輝きを失う。
- ・「あいさつは、七難隠す」と言われる。つまり、少々の至らなさや未熟さも、カバーするということだ。
- ・この後の校歌斉唱、今日の一日のあいさつ、明日の朝のあいさつに期待したい。
- ・すばらしい人に共通している点は、相手よりも先にあいさつをしているところだ。
- ・今日からのあいさつ、毎日のあいさつを相手よりも先にすることを意識して、自分のものとしてほしい。

★ 玖島中は「一番すてきな学校」をめざす。

- ・今、落ち着きとひたむきさに満ち、前進を続けている中学校。それが「玖島中」だ。
- ・生み出しているのは、皆さん一人一人の強い思いと行動だ。「一番すてきな中学校」をめざす資格がある。
- ・あとは「ハート」だ。仲間を大切に思うハートをさらに育て、すべての生徒の「笑顔」が輝く学校をつくる。
- ・今日が、2学期に君たちを待つドラマの幕開けだ。10月には全体の半分以上を過ぎることになる。
- ・このひと月の過ごし方に正対して、どのように取り組むのか自ら判断して全力で努力してほしい。
- ・一人一人の若くみずみずしい「本気」が学級や学校の様々な場面で化学変化を起こすことを大いに期待する。